

事業評価調書			
◎基本情報			
①	年度	会計コード	事業コード
②	事業名		
③	評価担当	所属コード	
	課	担当者名	電話番号
政策名			
④	施策名		
	主 副		
事業の性質 <input type="radio"/> 経常経費 [<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 内部管理以外] <input type="radio"/> 臨時的経費			
⑤	事業 内容	目的と 内容	
		主たる受益者	
⑥	事業の 必要性		
⑧	実施期間 <input type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度継続 <input type="radio"/> 複数年継続 開始 年度 終了 年度		
	実施形態 <input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助・助成 <input type="radio"/> その他		
⑧	関連法令		
⑨	他都市 の状況		
	関係HP		
⑨	関連計画	新まちづくり計画 <input type="radio"/> 対象 <input type="radio"/> 対象外 計画コード	
		政策目標	
		重点課題	
		施策	
		基本事業	
その他関連計画			

- ① 年度
平成 26 年度の行政評価の対象となる事業は 25 年度の事業です。
- ② 事業名
予算の小事業名を記載しています。
- ③ 評価担当課
当該事業の評価の担当課名を記載しています。
- ④ 施策名
事業の上位目的に当たる第 3 次札幌市新まちづくり計画体系における施策名を記載しています。
- ⑤ 事業の目的と内容
事業の目的と平成 24 年度に実施した事業内容を記載しています。
- ⑥ 主たる受益者
当該事業はどのような人、団体などのために行っているかを記載しています。
- ⑦ 事業の必要性
なぜ当該事業の実施を必要としたかの「社会背景」、「市民ニーズ」、「事業を行わない場合の影響」などの観点から記載しています。
- ⑧ 関連法令
当該事業を行うことが直接記載されている、または事業を行ううえで基準とすべき法令、条例、規則、要綱などがある場合、その名称を記載しています。
- ⑨ 他都市の状況
当該事業と同様の事業、または類似事業に関する、他政令市などの他自治体の動向を記載しています。

◎事業費

短縮コード:*****(単位:千円)

	21年度決算	22年度決算	23年度予算	23年度決算	24年度予算
事業費(A)					
特定財源					
国・道					
市債					
その他					
一般財源					
人工					
人件費(B)					
計(A+B)					

② 事業費の執行内容

--	--

◎指標

③

指標1	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度目標	23年度実績
指標2	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度目標	23年度実績
指標3	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度目標	23年度実績
指標4	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度目標	23年度実績
指標5	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度目標	23年度実績
補足説明						

① 事業費

23～25年度決算額、25～26年度予算額、23～26年度の人員(人工)・人件費を記載しています。人件費は、職員の平均給与×人員(人工)で計算しています。平均給与は下表のとおりです。

年度	H23	H24	H25	H26
平均給与(千円)	7,600	7,400	7,300	7,700

② 事業費の執行内容

事業費の主な執行内容を、記載しています。

③ 指標

事業の実施で実現する成果や事業の効率性を示すものです。

指標名、設定理由、これまでの実績値及びその目標値を最大5つまで記載しています。

指標設定については、成果指標の設定を基本としていますが、成果指標の設定が困難な場合は、活動指標を設定しています。

*事業の成果を考える場合、複数の事業の実施や行政以外の要因、さらに時間経過を経て長期的に実現する成果もありますが、この欄では、当該事業の実施によって直接的に発生・実現する成果を表す指標を設定するようにしています。

◎検証		短縮コード:****	
【事業担当部局】			
①	市民自治の観点からの評価		
②	成果の視点での検証		
	経常的経費	コストや効率性の視点での検証	
		事業費縮小	
	臨時経費	実施によるプラスの効果	
事業を行わなかった場合のマイナスの影響			
③	施策目的等から見た課題		
④	今後の方向	内容	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 ○ その他
		歳出見通し	○ 増加 ○ 増減なし ○ 減少 ○ 予算なし ○ その他
⑤	備考		

- ① 市民自治の観点からの評価
自治基本条例の趣旨に則り事業を行っているかという観点からの検証結果を記載しています。具体的には、各事業が『企画立案・計画』『実施』『評価・改善』の各段階において、「市民参加を行っているか」、「適切な情報提供を図った上で事業を進めているか」の2つの観点について検証した結果を記載しています。
- ② 妥当性・必要性の検証
- 成果の視点での検証（経常的経費のみ）
事業内容について、指標の実績値や市民の声などを参考にしながら、事業の成果と施策への貢献度（施策目的のどの程度貢献しているのか）を検証した結果を記載しています。また、今後（短期的、中長期的に）改善していくべき点がある場合には、その内容も記載しています。
 - コストや効率性の視点での検証（経常的経費のみ）
事業内容について、コストや効率性の視点から検証した結果を記載しています。また、事業の実施内容や実施形態、担い手のあり方などについて改善すべき点がある場合には、その内容を記載しています。
 - 事業費縮小の影響（経常的経費のみ）
事業費を10%削減した場合、現在の事業内容をどのように見直すことになるか、また、それにより市民サービスレベルに具体的にどのような影響が出るかを記載しています。
 - 実施によるプラスの効果（臨時経費のみ）
当該事業を実施したことによるプラスの効果を記載しています。
 - 事業を行わなかった場合のマイナスの影響（臨時経費のみ）
当該事業を実施しなかった場合に、どのようなマイナスの影響が出るかを想定し、その内容を記載しています。
- ③ 施策目的などから見た課題（経常的経費・臨時経費共通）
当該事業が関連する施策の目的（基本方針）あるいは事業実施の目的を踏まえて、当該事業が抱えている課題を記載しています。
- ④ 今後の方向～内容（経常的経費・臨時経費共通）
上記の検証内容や課題、市民満足度調査の結果などを踏まえ、当該事業の来年度（27年度）の方向性を記載しています。そのうえで、26年度事業内容と比較した来年度の事業の内容を「拡充」、「現状維持」、「縮小」、「休止・廃止」のいずれかで示しています。
- ⑤ 今後の方向～歳出見通し（経常的経費・臨時経費共通）
当該事業費の来年度（27年度）の歳出見通しを記載しています。そのうえで、26年度事業費と比較した来年度の歳出見通しを「増加」、「増減なし」、「減少」、「予算なし」のいずれかで示しています。

短縮コード:****

① 【2次評価】

② 【外部評価】

③ 【改善・見直しの検討結果】

① 2次評価

2次評価によって指摘された事項がある場合には、その指摘事項を記載しています。

② 外部評価

外部評価によって指摘された事項がある場合には、その指摘事項を記載しています。

③ 改善・見直しの検討結果

2次評価・外部評価によって指摘された事項がある場合には、その改善・見直しに向けた検討の結果を記載しています。